

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 11 日

事務事業名	子育てのための施設等利用給付事業		事業区分		担当	
			新規/継続	継続	事務事業No.	010103001040
			単独/補助	補助		040201
政策体系上の位置付け					所属課	児童福祉課
総合計画の施策名	0101	子育て支援の充実と少子化対策の推進			課長名	
政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり			グループ	保育G
施策名	01	子育て支援の充実と少子化対策の推進			担当者名	
手段名	03	③経済面での子育て支援				
財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細
	01	03	02	02	10	00
						子育てのための施設等利用給付事業
法令根拠	子ども・子育て支援法第30条の11		事業期間		単年度繰返し (令和元 年度~)	
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)		→		期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入	

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>令和元年10月から幼児教育保育の無償化により3歳から5歳児までの幼稚園、保育所、こども園を利用する児童及び0歳から2歳までの非課税世帯の児童の利用料が無償化となった。</p> <p>また、幼稚園の預かり保育や認可外保育施設 (一時預かり事業、病児保育事業、ファミリーサポートセンター事業を含む) を利用する児童についても一定額までの範囲で利用料が無償化されている。</p> <p>施設等利用費の支払は、市町村が施設等利用給付認定を行った認定子どもが、市町村が確認した子ども子育て支援施設等から特定子ども・子育てを受けた場合に保護者に対して行うもので、償還払いによる支払いを基本とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特定子ども子育て支援施設等の確認・公示 (対象施設・事業: 認可外保育施設、預かり保育事業、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリーサポートセンター事業) 施設等利用給付認定 (新1号・新2号・新3号認定) 施設等利用費の支払 (認定保護者から施設等利用費請求書を受領し、支払事務を行う) 補助率: 国1/2、県1/4

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
認定保護者からの施設利用請求書の受付審査及び支払事務を行う。	請求書受付件数	件	74.00	165.00	165.00	165.00	165.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
預かり保育及び認可外保育施設利用児童	預かり保育利用児童	人	12.00	6.00	32.00	32.00	32.00
	認可外保育施設利用児童	人	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
子育てする者の経済的負担を軽減する	支払件数	件	74.00	165.00	165.00	165.00	165.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	257	300	366	
		県支出金	千円	128	115	366	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	130	29	0	
		事業費計 (A)	千円	515	444	732	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
	19 扶助費	444		19 扶助費	732	
		合計	444		合計	732

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> 施設等利用給付認定を行う。 認可外保育施設・預かり保育事業・一時預かり事業・病児保育事業・ファミリーサポートセンター事業を利用した認定保護者から施設等利用費請求書を受領し、支払事務を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設等利用給付認定を行う。 認可外保育施設・預かり保育事業・一時預かり事業・病児保育事業・ファミリーサポートセンター事業を利用した認定保護者から施設等利用費請求書を受領し、支払事務を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設等利用給付認定を行う。 認可外保育施設・預かり保育事業・一時預かり事業・病児保育事業・ファミリーサポートセンター事業を利用した認定保護者から施設等利用費請求書を受領し、支払事務を行う。

事務事業名	子育てのための施設等利用給付事業	事務事業No.	10103001040	所属課	児童福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
令和元年10月からの幼児教育保育の無償化により、保育の必要性の認定を受けた児童について、幼稚園の預かり保育事業や認可外保育施設等の利用料が一定の範囲内で無償化されることになった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
無し					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 子育て世帯への支援制度である。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国の制度下での事業である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 国の制度下での事業である。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 国の制度下での事業であるため廃止はできない。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 無し
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 支払い請求に基づき支払いを行うものである。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 保育を行っている者において公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	子育てする者の経済的負担を軽減することができている。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上維持			○	×	低下		×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
向上維持			○	×																	
低下		×	×	×																	
(6) 事務事業優先度評価結果		⑧																			
成果優先度評価結果		⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>